

[2004]

中日经济高级论坛

——金融改革与发展

顾问：厉以宁 黑田东彦
主编：单忠东 中井德太郎



经济科学出版社

2004

日中経済ハイレベル
・フォーラムin 2004

——金融の改革と発展——

顧問：黒田東彦 厲以寧

主編：中井徳太郎 単忠東

主催者：北京大学光華管理学院

財団法人 日本・国際金融情報センター

協力者：北京光耀国際投資諮詢有限会社

中国企業投資協会金融委員会

日本 産官学中国・アジア経済研究会

経済科学出版社



作者简介

单忠东

北京大学经济系学士毕业，澳大利亚国立大学发展经济学硕士，麦卡利大学国际贸易与金融学博士，现任北京大学光华管理学院院长助理，金融系教授，博士生导师，北京大学中国经济与WTO研究所所长。单教授的主要研究领域为金融市场与经济发展、国际贸易和国际金融，在国际学术杂志上发表三十多篇论文并有专著出版。单教授曾担任中国财政部债务工作小组（1985-1986）成员，中国财政部与外经贸部汇率联合工作组成员（1985-1986）；澳大利亚维多利亚大学商学与法律学院副院长，副教授（终身职），国际商务专业主任，澳大利亚政府国际发展援助局咨询专家，澳大利亚麦卡利大学亚太经济研究院客座研究员，澳大利亚维多利亚大学国际交流委员会副主席。

作者简介

单忠東

北京大学経済学科で学士号を獲得。オーストリア国立大学発展経済学マスター。メカリ大学国際貿易と金融学博士。現職は北京大学光華管理学院院長助手、金融学科教授、ドクター指導教官、北京大学中国経済とWTO 研究所所長。主な研究領域は金融市場と経済発展、国際貿易と国際金融。国際的学術雑誌で三十篇以上の論文が発表。専門著作も出版。職歴には、中国財政部財務処理チーム（1985 - 1986）成員、中国財政部と対外経済貿易為替連合処理チーム成員（1985 - 86）、オーストリア国ビクトリア大学商学と法律学院副院長また助教授（終身職務）、国際商務専門主任、オーストリア政府国際発展支援局相談専務、オーストリア国メカリ大学 AP 経済研究院客席研究員、オーストリア国ビクトリア大学国際交流委員会副主席。

出版説明と感謝

2004年7月、北京大学光華管理学院と財団法人日本国際金融情報センターが主催、北京光耀国際投資諮詢有限公司、中国企業投資協会金融委員会や日本産官学中国アジア経済研究会が協力した「2004 中日経済ハイレベルフォーラム」は北京大学光華管理学院で行われました。このフォーラムの主題は「金融の改革と発展」で、銀行協力、金融リスク回避、不良資産処置、不動産金融などの現実的な問題について、列席された中日の貴賓は十分な検討を行い、一定の研究成果を取りました。それで、主催方として、われわれはこれらの研究成果を論文集にして出版することにしており、それを中日双方の産官学各界の人士や多くの読者たちが共有させようと考えています。

この本の出版は各方からの大きな助力を受けました。日本財務省中井徳太郎先生と北京光耀国際投資諮詢有限公司（日本）中村善昌先生はこのフォーラムの開催のため、多大な努力をなされまして、両氏に感謝の意を申し上げます。一方、北京首都創業集団会社が出版費を提供してくれたこと、経済科学出版社の呂萍女史及びその同僚各位がこの本の上梓に力を尽くしてくれたことにも感謝しております。本院の張聖平助教授とわたしのポストドクターである綦建红博士もこの本の出版のため、多くの細かいことをやってくれ、ここに一同

御礼をします。

とくに断るのは、この前、中村善昌先生はわれわれと永別しました。この本の出版は故人への記念と思われます。

单忠東

北京大学光華管理学院に於いて

2004 年 12 月

「日中経済ハイレベルフォーラムin 2004 – 金融改革と発展 –」を終えて

(内閣官房参与)

黒田東彦

去る7月2日、北京大学光華管理学院において「日中経済ハイレベルフォーラム in 2004 – 金融の改革と発展 –」が開催されたところ、日中両国から政策担当者、研究者、民間経営者などが数多く集まり、活発な議論が行われた。このように同フォーラムが大成功を収めたのは、北京大学光華管理学院と日本国際金融情報センターという日中の著名な研究教育機関が主催し、北京光耀国際投資諮詢有限会社、中国企業投資協会金融委員会、日本産官学中国アジア経済研究会が協力したからである。なかでも、光華管理学院の厲以寧学長の貢献はきわめて大きく、同学長の尽力なしにはこれほどの成功はおぼつかなかったと思われる。

る。心から敬意と謝意を表したい。

7月2日のフォーラムには、中国側から、吴志攀中国人民銀行副行長、唐双寧中国銀行監督委員会副主席、郭樹清中国外貨管理局局長などの有力な政策担当者が出席して率直な意見を述べられるとともに、曹鳳岐北京大学光華管理学院教授、巴曙松国务院発展研究中心金融研究所副所長など著名な研究者が鋭い指摘をされていたのが印象的だった。日本側からは、田中直毅21世紀政策研究所理事長や青木昌彦スタンフォード大学名譽教授などが参加され、神田秀樹東京大学法学部教授、三宅朝太郎東京三菱FG専務取締役、それに私が、それぞれ、日本の証券法制の整備の現状と展望、不良債権処理の経験、金融自由化と資本自由化の経験について報告を行った。中国側の出席者はわれわれの報告に対して強い関心を示され、幅広い角度から討論が行われた。

今回のフォーラムで学んだことは、日中が経済発展段階や経済金融構造において著しく異なっているにもかかわらず、金融機関の不良債権処理、金融監督や金融規制のあり方、金融リスク管理の方法、金融改革の進め方など多くの面で類似の困難や問題に直面していることである。これは、日中両国の政策担当者、研究者、民間経営者が交流することにより、それぞれの問題解決に際して相互に得るところが大きいことを意味している。また、日中双方の国内でも、政策担当者、

研究者、民間経営者が金融について忌憚のない意見交換をする機会はそれほど多くないので、このフォーラムがその機会を提供してくれたともいえよう。

今後とも、日中は経済のみならずさまざまな面で協力を推進していく必要があると思われる。その際には、日中両国の関心の深い事項について、両国の政策担当者や研究者、民間経営者が自由に意見交換をし、将来に向けて発展的な結論と友好的な関係を導くことが重要だといえよう。今回のフォーラムの成果を踏まえて、さらに日中の産官学の交流を深めて参りたい。

前書き

2004年4月、北京大学光華管理学院代表团は日本の産官学機構である日本財務省、東京大学、慶応大学、日本産官学アジア研究会、三菱会社などを訪問して、共同認識を達成しました。つまり、光華管理学院は日本側と協力して、毎年ひとつの主題を設定する「中日経済ハイレベル研究会」を行うことです。この7月、第一回の「中日経済ハイレベル研究会」は北京大学光華管理学院で行われ、主題は「金融の改革と発展」です。

社会経済の進歩は金融業の安定、発展及び金融からの工商業への支持を失ってはならないのです。しかし、その過程で、各種の金融リスクが現れる場合がある。どのように金融リストを避けるか、どのように金融業がもっと経済発展を推し進めさせるか、これらの問題はすでに中日両国政府、金融界、企業界、学术界が議論しているホットになりました。これから出発して、中日両側の産官学各界が北京大学光華管理学院で集め、金融発展経験を交流し、金融経済の行方を把握し、ハイレベルの金融協力に力を尽くして、一定の研究成果を取りました。この研究会の開きは、中日両国の金融改革と発展にだけでなく、両国経済貿易領域の高級人士に交流土台を提供することにも助かったのです。また、両国産官学各界の実力を集め、経済相互補充かつ一衣帯水の地理の長所を発揮して、中日両国がより広

く経済協力を展開すること、両国の経済発展、東アジア経済安定と繁栄に促することにも役立つと思われます。

このハイレベル研究会の行いは、北京首都創業投資有限公司、財団法人日本国際情報センター、北京光耀国際諮詢投資有限公司、中国企業投資協会金融専門委員会や日本産官学中国アジア研究会から有力な支持を受けました。北京大学光華管理学院单忠東教授、李東教授、張聖平副教授らは研究会の開きと論文集の出版に多くの力を尽くしてくれました。ここで一緒に感謝の意を表します。

厲以寧

北京大学光華管理学院に於いて

2004 年 12 月 30 日

「中日経済ハイレベルフォーラム」 開幕式でご挨拶

全国政協副主席李貴鮮

尊敬するご来賓の皆様

まず、「中日経済ハイレベルフォーラム」にご参加いただきましたご来賓の皆様にご心から熱烈歓迎と感謝の意を表します。

現在、経済のグローバル化と経済融合の波が日増しに高まり、経済融合と協力は世界経済のトレンドとなっています。このような背景のもとで、各国が経済協力を強化することは必然なことであります。経済発展のビジョンから見れば、東アジア地域は最もバイタリティのある地域の一つであります。世界のほとんどの経済学者は、中国を含めた東アジア地域は最も広いマーケットがあり、投資面で最も魅力的な存在で、銀行、保

険、信託投資、証券、不動産、ビジネスサービス、交通運輸及びハイテク産業の発展ポテンシャルが極めて多く、注目されるべきだとしています。中日両国は一衣帯水の隣国で、経済面でそれぞれ優位性のみならず、補完性もあり、経済協力の優位性がきわめて際立っています。従って、この度、光華管理学院と財団法人日本国際金融情報センターが主催し、北京光耀国際投資コンサルティング有限コンス、中国企業投資協会金融委員会、日本産官学中国アジア経済研究所が共催した「中日経済ハイレベルフォーラム」の開催は必ず両国経済貿易界有識者交流プラットフォームの構築、銀行間協力、リスクマネジメント、不動産金融などの現実問題の深い検討、中日双方の金融及び其の他の経済領域の更なる協力、そして東アジア地域の長期的安定や繁栄に役立つものと思われれます。

最後に、「中日経済ハイレベルフォーラム」の開催の成功を祈念してご挨拶とさせていただきます。

有難うございました。

呉志攀副学長 のご挨拶

尊敬する李貴鮮副主席、
尊敬する中国人民銀行郭樹清副行長、呉副行長
尊敬する厲以寧院長
尊敬する日本経済顧問黒田副大臣
指導者の皆様、ゲストの皆様

北京大学光華管理学院と財団法人日本国際金融情報センターが主催し、北京光耀国際投資コンサルティング有限公司、中国企業投資協会金融委員会、日本産官学中国アジア経済研究所が共催した「中日経済ハイレベルフォーラム——金融の改革と発展」は本日わが大学で盛大に開催されました。わたくしは許智宏学長の依頼を受け、北京大学教職員や学生全員を代表いたしまして、フォーラムの開催を心からお祝い申し上げますと共に、指導者、ゲスト及び遠路はるばるお越しいただきました日本の研究者の皆様に熱烈歓迎の意を表いたします。

今年には北京大学創立 106 周年にあたります。現在、北京大学には人文、社会科学、言語など合計 18 学部、12 の理工学部があり、学生数は38000 人であります。北京大学はこれまでの発展の中で、社会各界、政府、企業および海外から多大な支持を与えられました。北京大学は、学術面で包容や事実を重んじる革新的学風に基づき、教師や学生に対して、学術理論の研鑽のほかに社会、企業、マーケットについての勉強、そして中国社会の実在問題、たとえば三農問題、金融問題、エネルギー問題、雇用問題、環境と資源問題などの解決への関心を唱えています。同時に、われわれは教師と学生に対して、アジア地域経済と社会発展の問題、世界経済と社会発展及び人類平和的発展の問題などへの関心を奨励しています。

本日、金融改革と発展をめぐる中日経済フォーラムの北京大学での開催はわが大学の教師、学生にとって大変すばらしい勉強のチャンスであります。わたくしは北京大学の教職員、学生を代表いたしまして、フォーラム開催の成功と皆様のご健勝を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

有難うございました。

厲以寧院長 のご挨拶

尊敬するご来賓の皆様

おはようございます。

まず、わたくしは北京光華管理学院を代表して、「中日経済ハイレベルフォーラム」にご参加いただきましたご来賓の皆様に心から熱烈歓迎と感謝の意を表します。

北京大学光華管理学院の前身は1985年に設立された北京大学经济管理と北京大学管理科学センターでありました。1993年12月、その二つを合併して、北京大学工商管理学院となりました。1994年9月18日、北京大学が光華教育基金界と学校経営協議書を結び、工商管理学院は今の光華管理学院と改名されました。光華管理学院は管理研究と教育を行う機関で、社会各界に国際レベルの管理教育を提供することを己のミッションとし、国有企業管理の国際化、民营企业管理の近代化、グローバル会社の現地化などの手助けに取り込んでいます。19